

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 109 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 109 回 : 2021 年 2 月 18 日 (木) 13:30~15:30

2. 場所 Web 開催 (Webex)

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本 (和) 幹事, 佐藤 (吉), 石田, 岩谷, 橋本 (望),  
藤崎 (菅原委員代理), 丹野 (佐藤 (輝) 委員代理), 三橋, 塩田 (11 名)  
(常時参加者) 友澤, 錦見 (2 名)

(敬称略)

4. 配布資料

- P4SC-109-1 第 108 回 L1PRA 分科会議事録
- P4SC-109-2 内的事象 L1PRA 標準案 中間報告について
- P4SC-109-3-1 内的事象 L1PRA 標準 統合性能化 基準案
- P4SC-109-3-2 内的事象 L1PRA 標準 統合性能化 指針案
- P4SC-109-4 基準及び指針の標準構成について

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 11 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 108 回議事録の確認

資料 P4SC-109-1 を用いて, 第 108 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡  
いただくこととし, 特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) 中間報告への対応について

資料 P4SC-109-2 により, 標準案中間報告におけるリスク専門部会での意見対応の結果,  
内容について了承され, 次回標準委員会にて中間報告する旨の報告があった。

(4) L1PRA 標準統合性能化

資料 P4SC-109-3-1, 3-2 により, L1PRA 標準統合性能化案について検討した。主な議論は  
次のとおり。

- ・基準におけるこれまでの分科会議論の反映及び専門部会での席上意見である解説の追記について確認した。
- ・指針におけるこれまでの分科会議論の反映について確認した。指針 10.1 e) システム、機器の作動条件の扱いの例など論点となった部分については、次回分科会までに意見・検討を事前に伺うこととする。

資料 P4SC-109-4 により、今後の審議の進め方について確認した。次回分科会までに、指針の附属書 C 及び附属書 Q を完成すると共に、専門部会での席上意見を含め書式等について調整を行う。また、今回標準案の制定に関連して次の議論があり、資料 P4SC-109-4 に反映する。

- ・今回の基準・指針は、現行標準と構成も異なることから、新規標準として制定しているため、今回の基準・指針の制定により、現行標準がそのまま廃版となることはなく、別途に廃版の可否を審議する機会がある。
- ・今回の標準新設では、適用事例・データ類などは、基準・指針から除外しており、必要により別途に技術レポートとしてまとめていくことが考えられる。一方、このような適用事例・データ類は、学会内のみならず広く一般の文献・資料等も参照していく方が、より有効性の高い内容になるとも考えられる。また、産業界においても PRA モデルの高度化などを通して現在進行形でモデルの内容が更新されていることから、技術レポートのあり方については、関係各所を含め今後とも継続して議論していく。

#### (5) スケジュール, その他

次回分科会は 4 月 22 日 PM で web 開催の予定とする。なお、リスク専門部会長の標準委員会副委員長指名予定を受けた新部会長の互選結果に伴い、必要となる場合には再調整とする。

以上